

2020.4 — 2021.3
ARCHIVE of hacchi



hacchi

2020.4 — 2021.3
八戸ポータルミュージアム はっちの歩み

目次

〇はっちについて	1
はっちのコンセプト・ミッション	2
〇はっちの自主事業	3
〇はっちの10周年	4
【中心市街地賑わい創出事業】	
イベント連携事業	5
ライブラリ事業	6
はっちのゴールデンウィーク2020	7
はっちの七夕2020	7
はっちのクリスマス2020	7
はっちのお正月2021	9
まちぐみ事業	10
【文化芸術活動支援事業】	
はっちプロジェクトDASHIJIN	12
酔っ払いに愛を2020～横丁オンリーユーシアター～	13
【市民活動支援事業】	
ストリート投げ銭ライブinはっち	14
はっちがずっぱど南部弁	15
【ものづくり支援事業】	
はちのへ手しごと展～伝統工芸と民藝と暮らふとと～	16
ものづくりスタジオ	17
【観光振興・FMアクセス事業】	
お祭りinはっち2020(八戸三社大祭連携事業)	18
えんぶりinはっち2021(えんぶり連携事業)	19
オリジナルてんぼせんべい作り	20
市民作家・はっちサポーター(ボランティアガイド)	20
【八戸まちなか広場事業】	
マチニワ賑わい創出事業	21
マチニワピアノ	22
38 Fuud Food MARCHE 2020	22
マチニワ活用検討市民ワークショップ	23
令和2年度八戸市マチニワ活用事業補助金	23
【情報発信事業】	
はっちリレーショナル・プレスはちみつ	24
放送スタジオ「びびすた♪」	24
【貸館事業】	
市民のみなさんの活動・交流の場	25
〇こどもはっち	27
〇2020年度 はっちの自主事業一覧	28
〇2020年度 はっちの年表	29

名称とシンボルマークがあらわすもの

公募から生まれた愛称「はっち」

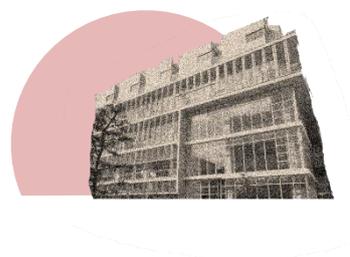
「はっち」という愛称は、公募から生まれました。八戸の「はち」から派生した「はっち」であり、市民にとって最も身近な言葉の一つでもあります。また、英語で卵の孵化や出入口などを意味する「hatch」にもちなんで名づけられました。さらに、着地型観光ならぬ、ここから市内各地に送り出す発地（はっち）型観光の意味もあります。

正式名称が示す施設の機能

正式名称「八戸ポータルミュージアム」は、来館者が観光などのために、実際の八戸に足を踏み出す玄関（入口＝ポータル）としての機能を担う施設であるとともに、市民の創造活動の拠点として、その本質に触れることができる博物館（＝ミュージアム）のような機能を担う施設であるという意味が込められています。

地域の特徴を表現したシンボルマーク

シンボルマークは、デザイナーの古平正義氏により、数字の8をモチーフとしてデザインされたものです。八戸は南部地域の八戸から九戸までの数字を冠するまちに囲まれ、また「はっち」も中心市街地の市日いちびを表す三日町という町の中にあるなど、数字の地名が多い八戸の地域的な特徴を表しています。



フィールドミュージアムとポータルミュージアム

八戸を「屋根のない大きな博物館」と見立てたフィールドミュージアム八戸は、観光資源を、まち・渚・田園・祭・歴史文化・食彩・産業・物産の8つのテーマでわかりやすく紹介しています。「はっち」ではこれらの魅力をコンパクトに集め、実際の八戸へと誘う玄関としての役目を担います。さあ、「はっち」からそれぞれのミュージアムへでかけよう！

8へのこだわり

「8」を中心としたシンボルマークは、八戸が南部地域の八戸から九戸に囲まれている特徴を表しています。また、はっちでは、八角形の中庭、8個の展示屋台、からくり獅子舞仕掛時計の8つの頭など末広がり縁起のいい「8」にこだわり取り組みました。そして、1周年記念セレモニーのその日、なんと888,888人目の入館者を迎えたのです。

事業のコンセプト

「はっち」は地域の資源を大事に想いながら、新しい魅力を生み出していくところです。地域の資源を大事にすること、市民と協働すること、まちなかに回遊することを意識し、3つの事業を行っています。

会所場 づくり

誰でも気軽に立ち寄れる場、人が集いコミュニケーションが生まれる場、地域の文化に触れられる場をつくりま

- ・こどもはっち
- ・はっちひろば
- ・リビング
- ・カフェ、ショップ ほか

貸館 事業

創作活動をサポートする施設の貸し出しをします。

- ・シアター
- ・ギャラリー
- ・各種スタジオ
- ・レジデンス ほか

自主 事業

地域の資源を活かした事業のプロデュースにより新しい価値を創造するため、4つの柱に基づいた事業を展開します。

- ・中心市街地賑わい創出事業
- ・文化芸術活動支援事業
- ・ものづくり支援事業
- ・観光振興・FM（フィールドミュージアム）アクセス事業

展示のコンセプト

八戸の見どころや魅力を、市民作家や市民学芸員の作品を通してわかりやすく紹介し、ここからまちなかや観光地に誘う玄関口としての展示がコンセプトです。

また、「はっち」館内は展覧会や発表会、練習などで活動している元気な市民の姿や、読書や憩いの場としてゆったりとした時間を過ごす姿、八戸弁でおしゃべりをしている素のままの市民の姿も含め、まるごと八戸が感じられる施設です。市民にとっては、八戸の魅力を再認識し誇りに思う場、観光客にとっては八戸に来たら必ず寄ってみたい場となります。

建築のコンセプト

「はっち」は八角形の中庭を中心に、八戸の中心街の特徴である路地や横丁のような回廊、広場のような空間があります。八戸の魅力を発見しながら、各所で観覧や活動、ショッピングや飲食、休憩を楽しめる立体的なまちとして造られています。

はっちのミッション

「はっち」はまちを元気に、ひとを元気にします。市民とつくる事業、産業、観光振興のためのクリエイティブな事業、そして、そこに集まる人々のコミュニケーションがまちを動かす力を生み出していきます。

- 八戸のやる気をさらに引き出します。
- まちの連帯感をつくりま
- ほしいものがあるまちにしま
- 歩きたくなるまちにしま
- 八戸資源を再発見するきっかけをつくりま
- 八戸流の情報発信をしま
- 子どもからお年寄りまで共に育てあう場をつくりま
- 新しい価値と表現を生み出す場をつくりま

はっちの自主事業

「はっち」は「地域の資源を大事に想うこと」、「市民と協働で行うこと」、「まちなかに回遊させること」をコンセプトに、以下の4つの基本方針に基づいて、分野横断的に事業を展開しています。また、市民ひとりひとりが多様な形で参加し、市民が主役になれる仕組みを設けており、地域資源の掘り起こしやシビックプライドの醸成、コミュニケーションの再構築につながるあらゆる取り組みが、市民の手によって日常的に行われています。

「はっち」では、これからもたくさんの市民に関わっていただきながら、まちの歴史や文化を大事に想いつつ、これまでとは異なる視点からまちの魅力や地域の宝に光を当てるような自主事業を実施していきます。

中心市街地 賑わい創出 事業

多様な交流機会の提供と中心商店街との連携により中心市街地に賑わいを創出します。

ものづくり 支援事業

地域資源を活かした新しいものづくりをめざします。

文化芸術 活動支援 事業

文化芸術の創造力を人づくりや地域づくりなどに活かします。

観光振興 ・FMアクセス 事業

八戸の魅力を発信し、フィールドミュージアム八戸の各フィールドへ人々を送り出します。



10th hacchi anniversary

はっちの10周年

これまでの10年を振り返り
次の10年へ



はっちでは、2011年2月11日のオープン以来、地域の資源を大事にしながら、地域の活性化に向けての活動を続けてきた。10年の節目にあわせ、市民のみなさんと共に積み上げてきた10年間の取り組みを改めて振り返った。

○2011-2021 はっち10年展

はっちの10周年に合わせて、これまで実施してきたプロジェクトを当時の担当コーディネーターのコメントや写真で振り返る展覧会を開催。フライヤーコレクション、これまで制作した映像作品やプロジェクトを改めて上映。また、はっちの印象的なイベントや、思い出など、利用者のみなさんの声を集めた「はっちのアレコレ」も展示。

・実施日：

プロジェクトアーカイブ展 2021年2月6日(土)～3月7日(日)

写真展 2021年2月10日(水)～2月21日(日)



担当コーディネーターだからこそ知る裏話も！



利用者のみなさんからの温かい言葉たち

○記念品のプレゼント

来館者先着100名様にはっち10周年の記念品をプレゼント。

・実施日：2021年2月11日(木・祝)



記念品はオリジナル手拭いとはっちラベルの三島サイダー



10年間のチラシを集めたチラシコレクションは圧巻



はっちの10年を振り返る写真がずらり



中心市街地
賑わい創出
事業

イベント連携事業

はっちは、まちなかイベントとともに
中心街を盛り上げます！

例年、「はちのへほコテン」や「八戸七夕まつり」、「八戸三社大祭」などの中心市街地の歩行者天国に合わせ、はっち館内のものづくりスタジオを中心に館外に出店している。各店舗でイベント限定の商品を提供するほか、中心商店街とシーズンイベントを協働で行うことで、多くの方々が立ち寄り、楽しめる中心街になるよう盛り上げていたが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため各イベントの中止が相次ぎ、「はちのへほコテン」開催時のみの連携となった。

〇ものづくりスタジオ館外出店

・はちのへほコテン：9月、10月の最終日曜日に計2回実施。
2020年9月27日、10月25日

・出店：very berry+、モザイクスタイル、箱庭 Ayu

※5月31日、6月28日、8月30日は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止。



館外出店により、お店を知ってもらう良い機会に



タイルのコースターづくり体験は小さい子どもにも大人気！



出店ブース前もたくさんの方が足を止めていた



ライブラリ事業

本に触れて、知って、楽しもう！

はっちの2～4階に設置されているライブラリ。4階では、毎月テーマを決めて選書した月例特集のほか、本にまつわる企画、展示を実施。



■和とじ製本オリジナルノートづくり

日本の伝統的な製本技術「和とじ」によるノートづくり体験を実施。（「本のまち八戸 ブックフェスミニ」企画）

- ・実施日：2020年9月27日（日）
- ・講師：中村勉（株式会社中長印刷 代表取締役会長）
- ・参加者：21名
- ・料金：300円

■はっちライブラリ 雑誌リサイクルフェア

はっちライブラリで配架していた雑誌のバックナンバー（2年前の2018年までの雑誌）を無料配布。（「本のまち八戸 ブックフェスミニ」企画）

- ・実施日：2020年9月27日（日）

■Book！ブック！こんにちは

「読書時間を癒し空間に～アロマスプレー&しおり作り～」
本を使用し、「物語」と「香り」が一度に楽しめるワークショップを実施。実際に物語の一節を読みながら、登場する香りを体感できる回と、はっちライブラリから気になる1冊を選んでイメージしたオリジナルの香りを作る回の2部制で実施。

- ・実施日：2021年3月14日（日）
- ・講師：小松美央（かわいいアロマみつじや代表）
- ・参加者：16名
- ・料金：各800円

■4階ライブラリの月例特集テーマ

4月 雑誌	11月 写真家・浅田政志
6月 視覚で楽しむ	12月 いまを“撮る”
7月 縄文文化・土偶	1月 旅
8月 納涼	2月 はっち開館10周年
9月 ゾクツとする	3月 新しい“何か”
10月 お酒・横丁	

（※5月は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止）

■各フロアのライブラリテーマ（通年）

- 2階：「八戸を知る・日本を知る」
- 3階：「地元の文学者を知る・深める」
- 4階：「アートやデザイン、食やものづくり、画集、雑誌」



毎月テーマに合わせた書籍をピックアップして紹介♪



今年初めて実施した雑誌リサイクルフェアは大好評！



物語と香りに触れながらアロマスプレーを制作

中心市街地
賑わい創出
事業

はっちのゴールデンウィーク2020

はっちの七夕2020

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため
規模を縮小し、館内装飾を実施

■こいのぼり展示

八戸三社大祭で使用された鯉のぼりの発砲スチロール彫刻を展示。新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言を受けて、4月29日～5月10日までの閉館期間中には夜のライトアップを実施。

- ・実施日：2020年4月28日(火)～5月31日(日)
- ・協力：はちのへ山車振興会 吹上山車組

■はっちの七夕飾り市民たんざくコーナー

七夕の雰囲気味わえるよう七夕飾りを施した竹を設置し、願いを込めた五色の短冊を竹の葉に結んで展示。

- ・実施日：2020年7月1日(水)～12日(日)
- ・参加者：503名



夜のライトアップ時の様子



願いをこめた短冊を好きな場所に結ぼう！

中心市街地
賑わい創出
事業

はっちのクリスマス2020

冬の暮らしを楽しむ企画が盛りだくさん

今回は「冬の暮らしを豊かに」をテーマとし、少人数制でじっくりと学べる講座やワークショップを多数開催。また、普段なかなか入る機会のないはっちの中庭や、はっち外壁のライトアップにより、館内やまちなかをクリスマスらしい装飾で華やかに演出した。

■暮らし学アカデミー

①八戸ワインの楽しみ方を学ぶ

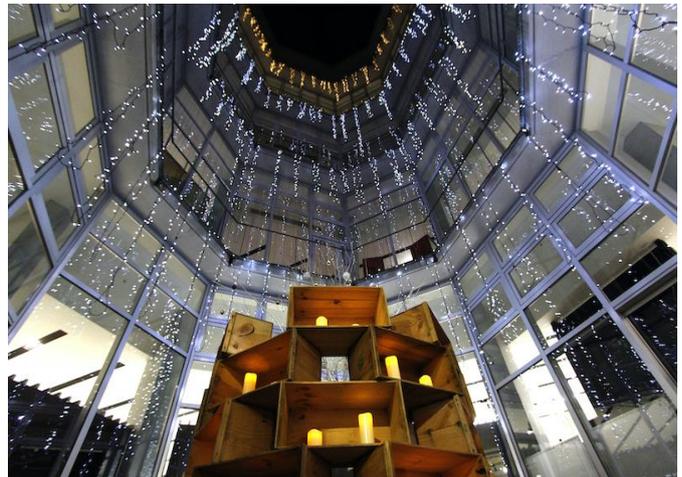
八戸ワインのぶどう生産や加工の現状を学ぶとともに、八戸ワインのテイスティングと八戸ワインに合う料理の提案を実施。

- ・実施日：2020年11月29日(日)
- ・講師：林千佳(kitchen プルトワ)
- ・参加者14名
- ・料金：2,000円
- ・協力：はちのへワイナリー、澤内醸造

②ギフトに！インテリアに！「額装」を学ぶ

額による作品の見え方の違いや、さまざまな額の種類について学び、お持ち込みの作品で額装マットでの色合わせを体験。

- ・実施日：2020年12月5日(土)
- ・講師：稲田洋一(はちのへ額装)
- ・参加者：15名



③[写真のまち八戸]イルミネーション撮影のコツを学ぶ

冬場に多いイルミネーションや夜景の撮影テクニックを学び、実際にはっちのクリスマスイルミネーションを実験台上に撮影し講評会を実施。

- ・実施日:2020年12月13日(日)
- ・講師:米内安芸(フォトセンター窓門 チーフカメラマン)
- ・参加者:19名

④冬も体ぽかぽか！スパイスを学ぶ

体を温めるスパイスの効能や種類、扱い方を学び、4品のスパイス料理のデモンストレーションを実施。

- ・実施日:2020年12月20日(日)
- ・講師:羽田修(インド食堂かふえびこていり)
- ・参加者:18名
- ・料金:1,000円

■ものづくり作家さんに教えてもらおう！お部屋を彩る冬雑貨

①スノードーム風ハーバリウムづくり

ハーバリウムの手法を使ったスノードームの制作ワークショップ。

- ・実施日:2020年11月29日(日)
- ・実施:箱庭 Ayu
- ・参加者:12名
- ・料金:600円～

②モザイクタイルって何？冬のコースター作り

モザイクタイルの制作工程を学び、色合わせを行いコースターを制作。

- ・実施日:2020年12月6日(日)
- ・実施:モザイクスタイル
- ・参加者:16名
- ・料金:800円

■レトロゲームコレクション展5

市内コレクターのレトロゲームの展示と、体験コーナーを実施。

- ・実施日:2020年12月19日(土)、20日(日)
- ・実施:RF ユニット
- ・入場者数:334名

■クリスマスライトアップ

はっちの中庭「はっちコート」をキャンドルとイルミネーションで装飾。はっちの外壁には日替わりで8パターンのカラーにライトアップを実施。

- ・実施日:2020年12月1日(火)～25日(金)



スーパーで手に入るスパイスでカレー作り



スノードームのように雪が降るハーバリウム



今年是非接触型のゲームの体験も！



8パターンの外壁ライトアップ

はっちのお正月2021

気持ちを新たに迎える
お正月を楽しみましょう！

書道パフォーマンス、民謡・手踊り、剣舞・居合、法霊神楽一斉歯打ちなど、お正月らしいステージイベントを実施したほか、日本文化体験をマチニワで初めて開催した。



■ステージイベント

こぶしの会、八戸藩伝神道無念流居合保存会は「はっちのお正月」に初出演。ステージイベントを盛り上げた。

- ・実施日：2021年1月2日(土)
- ・入場者：約200名

○新春書道パフォーマンス

・出演：八戸東高等学校書道部、八戸高等学校書道部

○法霊神楽一斉歯打ち

・出演：おがみ神社法霊神楽保存会

○はっちのお正月に「民謡一座」がやってきた！

・出演：小坂勝義・小柴社中一座

○新型コロナウイルス退散願いを込めた祓い清め

・出演：こぶしの会、八戸藩伝神道無念流居合保存会

■日本文化体験

書道、和小物づくりや金継ぎなどのワークショップを実施したほか、かるたや福笑いなどの昔の遊びコーナーを設置。

・実施日：2021年1月3日(日)

○令和の書初め～かわいい鳥獣戯画エコバッグをつくろう～

無地のエコバッグに、筆で絵や文字を書く。

- ・実施：くるみのひろば
- ・参加者：15名
- ・料金：500円(手作り菱刺しバッジ付き)

○つまみ細工で椿の2way クリップピンづくり

正方形の布で花びらをつくり、椿のクリップピンを制作。

- ・実施：花鳥風月堂
- ・参加者：9名
- ・料金：1,000円

○金継ぎワークショップ～大切な器をよみがえらせよう～

金継ぎの修理ができるように、全工程をレクチャー。(加工漆を使って手軽にできる簡易金継)

- ・実施：komado
- ・参加者：8名
- ・料金：3,000円

○昔遊びコーナー

かるたやメンコ、福笑いやけん玉、だるま落としなどの昔遊びコーナーを設置。南部裂織の敷物を敷き、靴を脱いで遊べる空間とした。

■八戸南部裂織デコレーション！

南部裂織合同作品を展示。

- ・実施日：2021年1月2日(土)～15日(金)
- ・制作：工房「澄」

■干支クイズ

干支に関するクイズを出題し、正解者の中から抽選で8名に裂織小物をプレゼント。

- ・実施日：2021年1月2日(土)～10日(日)
- ・応募者：66名
- ・協力：工房「澄」

■影あそび～

光の中で影絵を作って遊べる空間とした。

- ・実施日：2021年1月2日(土)～15日(金)



寒空の下、元気に裸足で書道パフォーマンス



無病息災に願いを込めた法霊神楽一斉歯打ち



裂織で作った鞆や果物などを吊り雛風に展示



中心市街地
賑わい創出
事業

まちぐみ事業

市民の「やってみたい！」を
“まちぐるみ”でサポートし、
「なんかおもしろい」を創り出す

アーティストの山本耕一郎さんがプロデュースし、八戸で暮らす人々の「やってみたい！」を“まちぐるみ”でサポートしてカタチにする市民集団「まちぐみ」。「はっちのイスに南部ひしざし体験」や「高校生とつくる南部せんべいカフェ」など、思いがけないアイデアで八戸のまちをちょっとずつ楽しくするプロジェクトを実施。

■まちぐみ運営

まちぐみ組員の活動拠点として、本八戸駅通りにまちぐみラボを運営。また、新しい組員も随時募集しており、2020年度は22名が加入。ニックネームとまちぐみで活かしたい得意技などの登録で誰でも加入できる。(1,000円でTシャツ購入、顔写真撮影あり)

■まちぐみ presents はっち×南部菱刺し

はっちの備品の椅子に南部菱刺しを施す市民参加型アートプロジェクトや、市民や観光客が南部地方の伝統工芸「南部菱刺し」を気軽に体験できる場を創出した。

・実施日：

「マスクにひしざししてみよう！ 八戸工業大学第二高等学校 情報ビジネスコース授業」2020年6月13日(土)

「はっちのイスに南部ひしざし」2020年9月20日(日)、11月21日(土)～23日(月・祝)

「はっちのパーティーに南部ひしざし」 不定期開催

■高校生とつくる南部せんべいカフェ

「南部せんべい」をテーマに、高校生のアイデアを活かした新メニューの開発やワークショップを実施し、商品の生産・販売など高校生と組員とが主体となって運営するカフェをオープン。

・実施日：

「南部せんべいマルシェ」2020年8月30日(日)

「はちのへホコテン」2020年9月27日(日)、10月25日(日)

「体験、発見、Hachinohe Style～伝統文化で、八戸にときめこう～」2020年10月11日(日)

「まちぐみ展6」2021年3月6日(土)、7日(日)、13日(土)、14日(日)、20日(土)、21日(日)



カラフルな糸で椅子にひしざし！



今年の新作メニューは「南部せんべいきッシュ」

■縄文フェス出店・グッズ販売

「縄文文化」についての関心を高めてもらうため、縄文フェス準備室をはっち館内に設置し縄文情報を発信した。また、組員のアイデアを活かした縄文に関するグッズを制作した。

・実施日：

「八戸縄文フェス準備室」2020年10月14日(水)～22日(木)、27日(火)～29日(木)

「縄文フェス」2020年11月1日(日)



縄文グッズも組員が考案

■まちぐみ展6

2020年度の活動を振り返るとともに、実施した活動内容の展示をSNSの記事などと併せて展示。期間中の土日(計6日間)は「高校生とつくる南部せんべいカフェ」を館内のパスタ店 Rit.とのコラボメニューで実施。

・開催日：2021年3月6日(土)～3月21日(日)

※3月9日(火)は休館日



今年実施した企画内容について写真を交えて展示

■中心商店街との連携企画

まちぐみラボが立地する本八戸駅通りや中心街で連携した企画を実施。

「ブルーフラッグプロジェクト」[144か所設置]

・設置作業：2020年4月25日(土)～7月31日(金)

「六日町の鮮魚店 福真のすだれ作成」[3本作成]

・作成期間：2020年8月12日(水)～8月28日(金)



工大二高生と中心街にブルーフラッグを設置

■組員自主企画「オンラインまちぐみ大学」(8講座)

まちぐみ組員提案の自主企画に組員7名が講師役として協力し、オンライン配信を実施。

・実施日：

「オープニング企画 海士町×まちぐみ オンライン交流会」

2020年9月21日(月・祝)

「第1回 オンライン工場見学～たたみの民と～」

2020年10月17日(土)

「第2回 南部ひしざし、どこに刺す？」2020年11月15日(日)

「第2.5回 ひろしアトリエ オンライン垂れ流し配信」

2020年12月12日(土)

「第3回 初代せカフェメンバー参加！南部せんべいクリスマスレシピ会」2020年12月20日(日)

「第4回 へんなものを作ってあそぼう」2021年1月31日(日)

「第5回 修了式～学長キムがまちぐみを語る」

2021年2月14日(日)

「第6回 特別講義 東方悠平さんとわちやわちやする会」

2021年3月2日(火)



まちぐみ大学では組員が講師役として登場

はっちプロジェクトDASHIJIN

八戸三社大祭の山車を造形する市民力で 八戸固有の物語が浮かび上がる

八戸三社大祭の山車の造形力という地域資源に光をあてたアートプロジェクト。最終年度の2020年度は、市内小学校で八戸三社大祭に関する学習を行う際に役立つ教材を作成した。また、休校時期から夏休みにかけておうち時間を楽しむための山車絵プロジェクトを実施した。



■山車絵を塗っておうち時間を楽しもう！

ウェブからダウンロードして山車絵の塗り絵を楽しんでもらうほか、応募者の作品を DASHIJIN Facebook で紹介し「お祭りinはっち2020」で展示した。

- ・実施日：2020年7月31日(金)～8月5日(水)
- ・協力：はちのへ山車振興会
- ・応募数：384点

■山車絵を描いて発表してみよう！

おうち時間を楽しむプロジェクトの第2弾として、未発表の山車絵を募集し、「お祭りinはっち2020」で展示。また、山車絵を描くための参考動画7本とおまけ動画1本を、山車絵の塗り絵提供者と制作した。

- ・実施日：2020年7月31日(金)～8月5日(水)
- ・協力：はちのへ山車振興会(下崎雅之、須藤和美、石橋元平、中居林義直、河原智子)、小倉学(八戸クリニック街かどミュージアム館長兼学芸員)
- ・応募数：5点

■八戸三社大祭 教育プログラム

小学校で八戸三社大祭に関する学習を行う際に役立つ教材(教員向けハンドブック・山車の制作過程毎のミニチュアパーツ・映像記録)を制作し、教育関係者向け教材展示説明会を開催した。

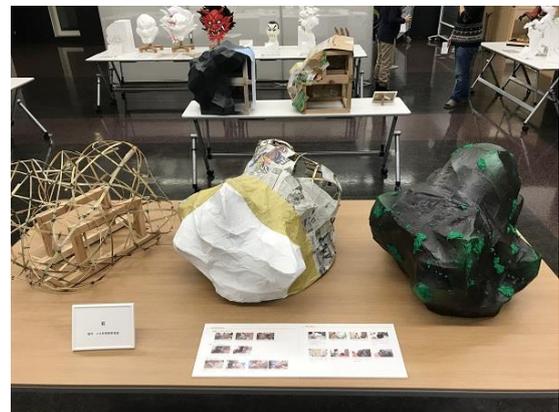
- ・実施日：2020年12月11日(金)～13日(日)
- ・監修：土谷享(KOSUGE1-16)
- ・映像制作：大澤未来
- ・協力：はちのへ山車振興会
- ・参加者：5名(教員)



見ごたえのある作品がずらり。学校や施設単位での応募も！



鬼の描き方を教わり中



岩などの彫刻の制作過程を教材に！



文化芸術
活動支援
事業

酔っ払いに愛を2020 ～横丁オンリーユーシアター～

横丁が劇場に変わる夜！



八戸名物の「横丁」は、古くから残る小路と小さなお店が連なるエリア。「横丁オンリーユーシアター」は、横丁で繰り広げられるダンス、芝居などのパフォーマンスをハシゴして楽しむイベント。2020年度は、初めての屋公演(4日最終日)や、公募アーティストのみでの実施となった。また、新型コロナウイルス感染症の感染予防策を講じて開催した。

■酔っ払いに愛を2020～横丁オンリーユーシアター～

各横丁や中心街各所に会場を設けてパフォーマンスを実施。
回遊するアーティストも登場。

- ・実施日：2020年10月2日(金)～4日(日)
- ・出演：五十嵐結也+吉田卓央・酒井直之(ダンス)、
開運姉妹(ダンス)、かえるP(ダンス)、DANCE WAG
(ダンス)、TAIYO(大道芸)、小田桐咲(武術太極拳)、
ごろねっと.com(演劇)、外館暢子 feat.フォーチュンシ
アター(演劇)
- ・参加者：約1,000名(3日間合計)
- ・料金：1,500円(公演鑑賞券3枚+ドリンク引換券)
500円当日券(1公演のみ鑑賞券)

〈主催〉酔っ払いに愛を実行委員会

〈共催〉八戸市

〈後援〉NHK青森放送局、RAB青森放送、青森朝日放送、青
森テレビ、八戸テレビ放送、めんこいテレビ、デーリー東北
新聞社、東奥日報社、エフエム青森、コミュニティラジオ
局BeFM、八戸中心商店街連絡協議会、八戸商工会議
所、まちづくり八戸、VISITはちのへ

〈協力〉八戸横丁連合協議会



回遊後のマチニワでのダンス公演。まるで水の樹の妖精のよう
(開運姉妹)



空き店舗の雰囲気も演出の材料に！(かえるP)



圧倒的な技で観客を魅了(TAIYO)



市民活動
支援事業

ストリート投げ銭ライブ in はっち

あなたのお気持ちで市民活動を応援！

アーティストが繰り広げるさまざまなパフォーマンスを、多くの市民が堪能した。音楽やダンスなどのパフォーマンスを月2回程度実施。来場者が自分の気持ちを「投げ銭」で表すスタイルは、出演者にダイレクトに反応が伝わるステージとなっている。

・実施日：2020年6月～2021年3月(年間20回)

・入場者数：約600名(年20回延べ)

・出演者：6月10日 sugar & spice

6月24日 コスプレイヤーズ・レビュー

7月8日 愛ちゃんとゆかいな仲間たち

7月22日 ニコニコ

8月26日 Rainy Day

9月9日 てる

9月23日 古屋敷裕大

9月30日 雪ノ下すぐり、Strawberry moon

10月7日 生田流箏曲松の実會青森県支部更上閣松操会

10月14日 竹林文和 with Friends

10月28日 Yukiko & Ponta with ポンタファミリー

11月25日 デュオ・ピアチェーレ

12月9日 厨二病ナイト

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止

2月23日 星川七恵

1月13日 Memory's SP

1月27日 マハナさとみ フラ&ハワイアンスタイルウクレレ教室

ハーラウ カマーラマヒヴァアロハ

2月10日 及川明子

2月23日 Gonza 一座

3月10日 無弦

3月24日 愛野ゆりな、MCS ナホクフラダンス



市民活動
支援事業

はっちがずっぱど南部弁

年に一度！

南部弁の魅力を探りましょう



青森県南地域で育まれた南部弁に温かさや親しみを感じてもらうことや、南部弁を楽しく交流するためのコミュニケーションツールとして後世に残すための取り組みとして実施。新型コロナウイルス感染症感染拡大防止策として、客席を例年の半分以下とし、第1章はオンラインでライブ配信、第2章は記録映像として保存(録画)した。

■第8回南部弁の日「はっちがずっぱど南部弁」

～うん、これアよごあんすナ～

方言で地域の文化と伝統を語って笑うびや～

・実施日：第1章 2020年12月5日(土)

第2章 2020年12月6日(日)

○第1章 柗谷伸夫プロデュース「南部弁さみっとin八戸2020」

青森県南部弁・津軽弁・岩手県南部弁の語り部が一堂に会し、各地の方言による昔コ(昔話)や方言の聞き比べを楽しむ。

・出演：八戸童話会(柗谷伸夫・佐々木和子・木下勝貴)、南部昔コキャラバン隊、津軽の語り部、釜石(岩手)の語り部

・入場者：49名(整理券配布)

・協力：弘前学院大学、岩手大学

○第2章 十日市秀悦プロデュース「待だせだなす！年に一度の南部弁バラエティーシアター全員集合だず！」

十日市秀悦さんが南部人をはっちに集合させ、お気に入りの南部弁を紹介！南部弁大好きな仲間っこ(ながまっこ)と一緒に、南部弁満載のコント、トークバラエティーショーを実施。

・出演：十日市秀悦、瀬川さとし、大地球、正部家光彦、中島美華、あどばる～ん、山田夢子、ジュリアン、古屋敷裕大、北村政則(はっち館長)

・入場者：43名

・料金：1,800円／高校生以下1,000円(当日200円増)





ものづくり
支援事業

はちのへ手しごと展 ～伝統工芸と民藝と暮らふとと～

八戸の伝統工芸にスポットをあてた「はちのへ手しごと展」を初開催した。南部地方の伝統工芸や津軽地方と南部地方の民藝品の展示、木のからくりおもちゃの体験・販売のほか、館内クラフト作家の出店など、「ものづくり」をたっぷり楽しめる3日間となった。

○実施日：2020年11月21日(土)～23日(月・祝)

■はちのへの暮らしに息づく伝統工芸

南部地方、主に八戸市の伝統工芸の魅力を紹介。伝統工芸の実演や展示販売のほか、制作体験を実施。

- ・実施：小坂勝義、工房「澄」、ザイケ家具工芸、館タテグ工芸、南部姫毬製作所、南部姫毬 幸工房、南部菱刺し工房 アトリエ縹 HANADA、南部菱刺し西野刺っ娘の会、株式会社八幡馬

- ・参加者：436名
- ・料金：500円～



ヒバの香りに包まれながら、カンナ削りに挑戦

■津軽と南部の民藝展

こぎん刺しと南部菱刺し、津軽凧と南部凧など、津軽地方と南部地方の民藝品を展示。

- ・実施：つがる工芸店
- ・後援：青森県民藝協会
- ・入場者：1,382名



トントントン♪木のパーツを組み合わせてコースターづくり

■あそぼ2020

木のからくりおもちゃの体験と展示販売を実施。新作おもちゃも登場した。

- ・実施：からくり工房・工遊館
- ・参加者：6名

■ものづくりスタジオ出店

館内クラフト作家による販売・ワークショップを実施。

- ・実施：おもちゃハウスくれよん、鳴音スタジオ、モザイクスタイル
- ・参加者：44名



こだわりのミニ烏帽子は、3時間かけて作る方も！

■まちぐみ presents 「はっちのイスに南部ひしざし体験」

まちぐみのひしざし部メンバーによる、はっちの椅子に南部菱刺し体験を行った。

- ・実施：まちぐみ ひしざし部

ものづくり
支援事業

ものづくりの良さを体感し、 ものづくりをする人を支える

ものづくりスタジオ入居者支援のため、ものづくりスタジオを広く紹介するチラシの制作や館内表示などを活用した広報活動を行うとともに、新規入居者の募集、お祭り・ホコテンなどイベントへの臨時出店を行った。

ものづくり
スタジオ

■ものづくりスタジオ入居者一覧(2020年4月～2021年3月)

フード	Rit. (自家製生パスタ)	2020年10月入居
	CHEESE DAY (熟成チーズ専門店)	入居中
	たまに庵MA-MA (かけうどん・かけそば)	入居中
	very berry + (フレッシュジュース)	入居中
クラフト	工房「澄」 (八戸南部裂織)	入居中
	モザイクスタイル (クラフトタイル)	入居中
	おもちゃハウスくれよん (手づくりおもちゃ)	入居中
	箱庭Ayu (ハーバリウムと雑貨)	入居中
	鳴音スタジオ (映像制作)	入居中



Rit.
地域食材を使用した
自家製パスタのお店



CHEESE DAY
さまざまな世界の熟成チーズで
新しい味との出会いをお手合い



たまに庵MA-MA
さっと来て、リーズナブルに
食べられる



very berry +
健康と美容を考えたフレッシュ
ジュースやスイーツが楽しめる



工房「澄」
伝統技法「地機織り」にこだわった
南部裂織グッズの製作・販売



モザイクスタイル
暮らしにアートをデザインする
インテリアパネルの製作・販売



おもちゃハウスくれよん
赤ちゃんが安心して使える
布製や木製のおもちゃを販売



箱庭Ayu
心地よい癒しの空間で
ハーバリウム体験や購入が可能



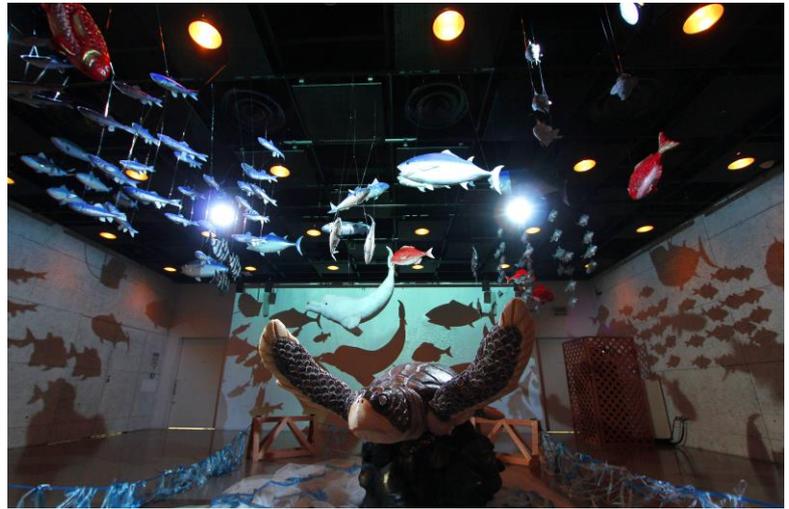
鳴音スタジオ
PR動画やメモリアル動画など
映像・音楽制作が依頼できる



お祭りinはっち2020

(八戸三社大祭連携事業)

八戸三社大祭をはっちで楽しもう！



2020年の八戸三社大祭は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴い、祭礼以外中止となったため、応援企画として「お祭りinはっち」を実施。山車飾り水族館の展示は、「映(バ)える」と高校生を中心にSNSでも話題となった。

■山車飾り展示

実際の八戸三社大祭で使用された山車(だし)飾りを展示。

・実施日：2020年7月31日(金)～8月5日(水)

■ミニ山車展示

市民から募集したミニ山車10台を展示。

・実施日：2020年7月31日(金)～8月16日(日)

■山車飾り水族館

山車飾りの展示でシアター1が水族館に変身！

・実施日：2020年7月31日(金)～8月5日(水)

■山車絵展示

山車づくりの基となる山車絵を展示。

・実施日：2020年7月31日(金)～8月5日(水)

■八戸三社大祭って何？騎馬打毬って何？

八戸三社大祭と加賀美流騎馬打毬の歴史・見どころなど、“よりお祭りを楽しめる”情報をマチニワの大型ビジョンで紹介。

・実施日：2020年7月31日(金)～8月5日(水)

■昔ながらの山車展示

伝統山車3台をマチニワに展示。

・実施日：2020年7月31日(金)～8月16日(日)

「お囃子披露」7月31日(金)～8月4日(火)、8日(土)、9日(日)、13日(木)～16日(日)

■DASHIJIN プロジェクト関連企画 山車絵のぬりえ展示

市民から募集した山車絵のぬりえなどを展示。

・実施日：2020年7月31日(金)～8月5日(水)

■館内カフェ・ショップ・ものづくりスタジオ連携企画

「お祭りinはっち」クイズラリー

はっち館内のお店11店舗に隠された、「夏」をテーマとしたイラストを答えるクイズラリーを実施。

・実施日：2020年7月31日(金)～8月4日(火)

■館内ものづくりスタジオ連携企画 館内特別出店

館内ものづくりスタジオがお祭り期間中特別出店。

・実施日：2020年7月31日(金)～8月4日(火)

・出店：モザイクスタイル、おもちゃハウスくれよん、鳴音スタジオ

〈協力〉はちのへ山車振興会



今年はフェイスガードをつけて、元気にお囃子！



7歳から80歳までの応募者のミニ山車作品が並んだ



えんぶりinはっち2021

(えんぶり連携事業)

はっちが贈る“えんぶり”の魅力



毎年2月に開催する「八戸えんぶり」期間中にえんぶり公演や関連企画を実施していたが、新型コロナウイルス感染症対策のため、八戸えんぶりが中止となり、展示や体験企画を中心に実施。また、マチニワでは特別企画として、えんぶりの雰囲気味わえるような「えんぶり応援企画」を開催した。

■えんぶりミュージアム

公募したえんぶり写真とえんぶり人形作家・下崎雅之さんの人形、つまご職人・石鉢勝憲さんのつまごと共に、館内マップを見ながら鑑賞できるように展示。

・実施日：2021年2月13日(土)～21日(日)

・写真公募数：25名(48点)

■えんぶり人形展

えんぶり人形作家・下崎雅之さんの作品を展示。作家の制作風景を再現したコーナーも併せて展示。

・実施日：2021年2月13日(土)～21日(日)

■えんぶり顔だしパネル

えんぶりの太夫・祝福芸の顔だしパネルで記念撮影ができるコーナー。

・実施日：2021年2月13日(土)～21日(日)

■えんぶり組の衣装・道具展示

えんぶり組が実際に使用している衣装や小道具の展示。

・実施日：2021年2月16日(火)～20日(土)

・協力：内丸えんぶり組

■目指せえんぶりマスター！えんぶり問題に挑戦！

えんぶりの知識を館内を巡りながら学べる問題に挑戦。全問正解した方へ「えんぶりマスター証明書」をプレゼント。館内ショップに関するくじ引きにチャレンジできる企画も実施。

・実施日：2021年2月17日(水)～20日(土)

・参加者：約204名

■オリジナルえぼしをつくろう！

「どうさいえんぶり」と「ながえんぶり」の違いを学びながら画用紙と色紙でかわいいオリジナルえぼしを作るワークショップ。

・実施日：2021年2月17日(水)～20日(土)

・講師：NPO法人はちのへ未来ネット(こどもはっち)

・参加者：69名

・料金：200円

■羊毛フェルトで烏帽子エコバッグをつくろう！

羊毛フェルトでエコバッグに烏帽子のモチーフをつけるワークショップを実施。

・実施日：2021年2月17日(水)、20日(土)

・講師：ポエジア

・参加者：27名

・料金：1,000円

■えんぶり特別企画～八戸にえんぶりが春を呼ぶ～

えんぶりのお囃子実演と、えんぶり写真を撮影している写真家のトークイベントを実施。

・実施日：2021年2月20日(土)

・協力：えんぶり保存振興会、八戸えんぶりお囃子研究会、
ニツ森護真、小野昭仁、堀井裕子



顔だしパネルは家族連れに人気



有志によるお囃子披露に喜びの声も！



えぼしが完成してにっこりピース



オリジナルてんぼせんべい作り

南部せんべいをおいしく楽しもう！

観光展示屋台「南部せんべい屋台」関連企画として、てんぼせんべいづくり体験に加え、「南部せんべい」と「地酒」をテーマとした講座を実施することで、地域資源の魅力の再認識につながった。



- 南部せんべい×日本酒～マリアージュに挑戦～
中心街の酒蔵の杜氏を講師に迎え、南部せんべいと地酒とを組み合わせて楽しむ講座を実施。
・実施日：2021年3月20日(土・祝)
・講師：加藤貴大(八戸酒類 杜氏(とうじ))
・参加者：9名
・料金：1,500円
・協力：Rit.、まちぐみ

- オリジナルてんぼせんべいをつくろう！
南部せんべい的一种である「てんぼせんべい」を焼く体験と八戸南部せんべいについての講習会を実施。
・実施日：2021年3月27日(土)
・講師：田村暢英(八戸商工会議所 八戸の南部せんべいブランド力向上プロジェクト担当)
・参加者：25名
・料金：500円



市民作家・はっちサポーター

はっちの観光展示を支える市民力



はっちの観光展示の特徴の一つは、市民の手によるものが多いこと。1階のからくり獅子舞仕掛け時計を制作した高橋みのるさん(からくり工房工遊館)や、2階片町の朝市のミニチュアなどを手掛けたミニチュア工房ちびつつ@さんの作品など館内の展示作品のほとんどを「市民作家」が手掛けている。

運営に当たり、市民作家に加え大切な担い手となっている市民が「はっちサポーター」。八庵にいけ花を展示したり、ガイドが来館者の案内を行ったりと、市民がボランティアで活躍している。

- 八庵いけ花展示
・実施日：2020年4月～2021年3月(のべ4回)
・協力：金入陽子
- 八庵色紙展示
・実施日：2020年4月～2021年3月(月4枚×12か月)
・協力：杉本敦子
- デーリー文芸天位入選作品遊書 杉本敦子色紙展 PARTIX
・実施日：2020年7月15日(水)～20日(月)
・入場者：約1,000名
・後援：デーリー東北新聞社

- ボランティアガイド
はっちは1階から4階まで観光展示やショップなどがあり、1人で見て回っても十分楽しめる施設だが、館内にいるガイドに案内してもらえると、また違ったはっちを楽しめる。
館内案内や八戸の見どころの案内はもちろんのこと、良き話し相手にもなってくれるガイドは10代から80代の幅広い世代で構成されており、研修会などで勉強しながら日々はっちを支えている。
・ガイド登録者数：33名
・ガイド常駐時間：9:00～17:00

マチニワ賑わい創出事業

いつでも訪れたい、何かをやってみたい
賑わいの場づくり

6月にはアンプレラスカイ、夏は大道芸フェスティバル、冬はクリスマスデコレーションと節分イベントを実施し、マチニワではいつも何かが行われている、訪れたい、多世代が憩う賑わいの場であるという機運を醸成した。

■ マチニワで気持ちを伝えよう！

大切な人へ伝えたいメッセージ動画を募集しマチニワで放映。

- ・実施日：2020年4月1日(水)～2021年3月31日(水)
- ・応募者数：14組

■ マチニワ アンプレラスカイ

カラービニール傘120本をマチニワの天井に展示。床に落ちる色とりどりの影も楽しみのひとつとなった。

- ・実施日：2020年5月29日(金)～6月30日(火)

■ アニメイトカフェ出張版inマチニワ

アニメ作品とコラボした限定メニューやグッズが楽しめる「アニメイトカフェ出張版」(キッチンカー)をマチニワへ誘致。青森県初出店となった。

- ・実施日：2020年7月11日(土)～12日(日)
- ・実施：株式会社アニメイトカフェ
- ・参加者：333名(2日間合計)

■ マチニワ2周年企画 マチニワ大道芸フェスティバル

東北で活躍する大道芸人の技を鑑賞したほか、誰でも参加できる体験ひろば(バルーン・ディアポロ・マジック)を実施。

- ・実施日：2020年7月23日(木・祝)～7月24日(金・祝)
- ・出演：もんたくん、マジシャン オーイズミ、華千代、チャタ



■ マチニワのクリスマス2020

トナカイとソリのフォトスポット、バルーンとジョーゼットやライトでマチニワ全体をクリスマス風にデコレーションした。

- ・実施日：2020年12月19日(土)～25日(金)
- ※天井のバルーンデコレーションは12月1日(火)～27日(日)
- ・映像出演：八戸聖ウルスラ学院、イメルダ幼稚園

■ 成人の記念に写真を撮ろう

アマビエを用いたバルーンを成人のお祝いフォトスポットとして設置。自由に撮影に使えるバルーンの小物も設置。

- ・実施日：2021年1月9日(土)～11日(月・祝)
- ・協力：大村美栄子

■ 「鬼はマチニワ！」～マチニワの節分2021～

八戸三社大祭で実際に使用された鬼をフォトスポットとして設置。的当て、的入れ、クラフトコーナー、流し豆も実施。

- ・実施日：2021年1月30日(土)～2月2日(火)
- ※レクリエーションは31日(日)のみ実施
- ・参加者：142名(レクリエーション)
- ・協力：はちのへ山車振興会(塩町附祭組・賣市附祭山車組)、八戸市レクリエーション協会

■ ダンボール迷路&つみきであそぼう

ダンボール迷路とつみき2,500ピースをマチニワに設置。

- ・実施日：2021年3月28日(日)



マチニワピアノ

音でつながる人とつながる

マチニワ2階には誰でも自由に弾くことのできるストリートピアノが設置されている。2020年6月からは終了時間を19:30から21:00に延長し、より多くの利用者に愛されるピアノとなった。自由にコメントを寄せられるノートも併せて設置し、利用者同士の交流にも繋がっている。

○利用時間:9:00~21:00



- 八戸イカール国際音楽祭 ミニクラシックコンサート
8月11日(火)~19日(水)八戸市公会堂文化ホールでの「八戸イカール国際音楽祭」に合わせ、マチニワピアノを活用した無料のミニクラシックコンサートを実施。2日間で合計9名の演奏家が曲目を変え、演奏した。
・実施日:2020年8月13日(木)、14日(金)
・出演:イカール国際音楽祭講師
・参加者:約90名



マチニワピアノとさまざまな楽器のコラボレーション

38 Fuud Food MARCHE 2020

風土と食と音のマルシェ

八戸圏域連携中枢都市圏を構成する8市町村参画のもと、風土と食でつながる地域の生産者による「マルシェ」と、アンバサダー(地元料理家)による「シェフズテント」を開催し、購買だけではなく、アンバサダーを介した「新たな地産地消の楽しみ」を体験できる場とした。



- 38 Fuud Food MARCHE 2020
・実施日:2020年9月12日(土)~13日(日)
・共催:八戸圏域連携中枢都市圏構成町村
(三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村、おいらせ町)
・入場者:約1,500名
- マルシェ(14店舗)
八戸圏域連携中枢都市圏の農産物及び加工品の販売。
- シェフズテント
アンバサダーシェフによる圏域の食材を使った料理の提供。
・アンバサダーシェフ:豊川智(origo)
- レシピ動画
農産物を使用した「38 Fuud Food MARCHE 2020」限定メニューのレシピイメージ動画を撮影し、ビジョンで紹介。
- イート風土はっち
はっち館内の飲食店が、通常営業の中で圏域食材を使ったメニューを提供しコラボ参加。
・参加店:ビストロ Sukegawa、CHEESE DAY、very berry+



自慢の農産物や商品がマチニワに集結

マチニワ活用検討 市民ワークショップ

マチニワを「場所」にするために

広場の活用策について、多様な世代や多彩な分野の方々からの意見・提案を開館後の運営方法に活かすことを目的とした、市民ワークショップを開催した。



- はっち開館10周年記念 市民と中心街の未来を考えるワークショップ「広場をいかす」
「中心街のメインの目的地」「ついでに寄る所」「中心街以外で済ませていること」「中心街に欲しいもの」「どんな定例会があれば参加したいか」の5つのテーマで、付箋紙を使いワークショップを行った。

- ・実施日：2021年2月11日(木・祝)
- ・講師：山下裕子(広場ニスト・マチニワアドバイザー)
- ・参加者：30名



グループに分かれてワークショップ

令和2年度八戸市 マチニワ活用事業補助金

マチニワを使用した市民活動を応援

10月～3月にマチニワを使用して行うイベントを対象に事業を募集し、選考のうえ1件20万円を上限として補助金を交付。4件の事業が補助金の交付をもとに実施した。



■tette

販売の機会創出を目的とし、八戸近郊のハンドメイド作家、就労継続支援事業所、飲食店を誘致。ハンドメイド作品や軽食を販売。22店舗が参加した。

- ・実施日：2020年11月28日(土)
- ・主催：tette 実行委員会、Nathumade、癒しルーム香る

■まちなか冬マルシェ♪in マチニワ Vol.3&Vol.4

中心市街地の賑わい創出を目的とし、ハンドメイド、飲食のマルシェを中心に、音楽やパフォーマンスのイベントを行う。

- ・実施日：2020年12月27日(日)、2021年3月21日(日)
- ・主催：みちのくりサイクル運動市民の会

■Kids パフォーマンス劇場2021

子どもたちのパフォーマンスの機会創出を目的とし、ネット媒体を活用し出場者を募集し、パフォーマンスを披露。

- ・実施日：2021年2月21日(日)
- ・主催：kids パフォーマンス劇場実行委員会

■ローカルヒーローWAVE マチニワ³オンライン

オンライン中継によって会場内の密を避けつつ、全国規模の観覧客を狙い、今後の八戸中心街におけるオンラインイベント開催のモデルケースとなることを目指し、実施した。

- ・実施日：2021年3月14日(日)
- ・主催：ヒーローバースプロジェクト in 陸奥



感染症対策をしながら実施したハンドメイドイベント



はっちレシヨナル・プレス はちみつ

このまちがもっと、このまちらしく
輝くためのソウゾウ開花
「はっち」が贈る、おいしい情報

- ・発行部数: vol.36 12,000部 vol.37 18,000部
- ・仕様: B4判8ページ2つ折、フルカラー
- ・配布先: 中心街約150か所、その他市外約390か所に配布
- ・発行時期: 2020年7月(36号)、2021年1月(37号)



はっち開館前の2010年から発行している「はちみつ」。はっちの館内や中心街の様子、市内の新しい情報を発信。2020年度は、コロナ禍で山車の運行が中止になった八戸三社大祭応援企画として「山車絵」の特集や、2021年2月にははっちが10周年を迎えるタイミングに合わせ、はっちの10周年を特集。中心街はもちろん、市内外の公共施設にも配布。はちみつを見て来館したお客様など八戸に興味を持ってもらうツールの一つとなっている。



〇はちみつバックナンバーの配布

はっちの10周年に合わせ、これまで発行した「はちみつ」を展示・配布。
(期間: 2021年2月10日(水)~21日(日))



八戸三社大祭の「山車絵」やはっち10周年の座談会を特集記事として掲載

放送スタジオ 「びびすた♪」

ラジオから届け！
はっちのお知らせ情報

- ・年間出演者数: 約300名
- ・周波数: 76.5MHz
- ・放送日時: 毎週月～金
11:30～15:00
- ・協力: コミュニティラジオ局 BeFM



毎回、はっちでイベントを開催する主催者がゲスト出演し、楽しいトークを繰り広げる

「ラジオ」というと顔が見えず音だけを頼りに情報をキャッチするもの。「どんな人なのだろう?」「どんな空間で放送しているのだろう?」とワクワクするのもラジオならではの楽しみ方一つだが、はっちでは1階のガラス張りの放送スタジオで公開放送しているので、スタジオの前に立てば、ラジオで話している様子を直接見ながら楽しむことができる。「送り手と聴き手が空間を共有できる」はっちのラジオ放送スタジオをぜひ覗いてほしい。

また、番組中は、はっちや中心街で開催するイベントを告知するコーナー「はっちi(インフォメーション)」があり、イベントの実施者が自らラジオに出演し、宣伝・PRを行っている。



貸館事業

市民のみなさんの
活動・交流の場

はっちの三大事業の一つである貸館事業。市民がはっちを利用して、さまざまな催し物を開催しており、毎年開催される恒例イベントもある。各施設の特徴や利用事例を紹介。



1F はっちひろば

3階まで吹き抜けの開放的な空間。作品展示・ステージ発表・講演会など多目的に使用可能。



1F シアター1

音響設備やピクチャーレール・ライトなどを完備しており、講演会・作品展示などに利用されている。



1F ギャラリー1

ピクチャーレール・展示用照明がある展示スペース。はっちひろば、シアター1と組み合わせた利用も可能。



2F シアター2

音響・照明設備・大型スクリーンがある多目的ホール。楽屋も完備され、ライブ・演劇などに利用されている。



2F ギャラリー2

作品の映える白壁にピクチャーレール・展示用照明を備えた個展に最適な展示スペース。(37㎡)



3F ギャラリー3

作品の映える白壁にピクチャーレール・展示用照明を備えた個展に最適な展示スペース。(44㎡)



3F 和のスタジオ・八庵(はちあん)

炉を備えた32畳の和室「和のスタジオ」。掘りごたつ式にもなる「八庵」を組み合わせた利用も可能。お茶席・日本舞踊のお稽古・展示会などに利用されている。



3F 音のスタジオ

ドラムセット・キーボード・アンプなど音響設備が備わっている防音室。楽器練習・バンド練習などに利用されている。



4F 食のスタジオ

コンベクションオープン・炊飯器をはじめ、調理器具・調理台が備わった開放感あふれる調理室。調理の様子を映せるカメラとモニターも設置。



5F 共同スタジオ

100㎡の多目的スペース。大人数でのワークショップなどに利用されている。



5F レジデンス

約42㎡の多目的スペース。アーティストが滞在していないときは、少人数の会議・セミナー、趣味サークルなどに利用されている。

○館内の利用状況 (2020年4月～2021年3月)

スペース	稼働率※
はっちひろば	43.5%
シアター1	52.7%
シアター2	35.5%
ギャラリー1	75.2%
ギャラリー2	45.3%
ギャラリー3	23.3%
和のスタジオ	42.7%
音のスタジオ	128.5%
食のスタジオ	16.5%
共同スタジオ	23.2%
レジデンス	81.1%

※4時間以下の利用を0.5日、4時間を超える利用を1日として換算
※2020年4月29日から5月10日まで緊急事態宣言により臨時休館



こどもはっち

未来の文化を
創造する
こどもたちに
開かれた場



こどもはちは県産材の木の温もりをたっぷり感じながら遊べる、こどもとおとなの交流空間。毎週末におもちゃの工作や絵本の読み聞かせタイム、バス遠足や人形劇観賞、そして折々の季節行事など、たくさんの体験の機会を提供している。パパ・ママたちの出会うの場のサークル活動や育児・子育て相談事業を実施するとともに、各地域の子育て情報を発信するなど、八戸市の子育て支援の拠点施設としての大きな役割を担っている。全てのこどもたちが夢いっぱい健やかに育つように、そしてこどもを育てる世代の全ての人たちが楽しく豊かに子育てできるように、地域のさまざまな団体、機関、個人のみなさまから御協力いただきながら事業を行っている。



はっちの年表

2006年	9月	基本構想策定
2007年	6月	基本計画策定
2007年	10月	基本設計策定
2008年	6月	プレ事業スタート
	12月	設計変更
2009年	4月	着工
	8月	愛称「はっち」に決定
2010年	3月	正式名称「八戸ポータルミュージアム」に決定
2011年	2月	はっち開館(2月11日)
	3月	東日本大震災により臨時避難所として運営(3月11日)
		照明学会 照明普及賞受賞 来館者数161,377人(3月31日)
	7月	八戸レビュー販売
	10月	中心街の歩行者通行量(2010年比) はっち前24%増 中心街全体13%増
2012年	2月	開館から1年目の来館者 888,888人
	3月	来館者数100万人達成(3月27日) 来館者数1,011,916人(3月31日)
	10月	中心街の歩行者通行量(2010年比) はっち前89%増 中心街全体33%増 グッドデザイン賞受賞(八戸レビュー)
2013年	3月	来館者数1,900,046人(3月31日)
	5月	来館者数200万人達成(5月15日)
2014年	10月	中心街の歩行者通行量(2010年比) はっち前101%増 中心街全体24%増 グッドデザイン賞受賞(市民が地域づくりに参画できる仕組みプロジェクト) 第33回東北建築賞受賞 「日本建築家協会優秀建築選」100選受賞
	3月	来館者数2,863,293人(3月31日) 文化庁長官表彰受賞(文化芸術創造都市部門)
	4月	マチニワ基本構想策定
	5月	来館者数300万人達成(5月30日)
	10月	中心街の歩行者通行量(2010年比) はっち前109%増 中心街全体35%増 マチニワ活用アイデアコンペ公開プレゼン開催
	11月	第43回デーリー東北賞受賞
2015年	3月	来館者数3,846,458人(3月31日) マチニワ整備基本計画策定
	6月	来館者数400万人達成(6月2日)
	10月	中心街の歩行者通行量(2010年比) はっち前82%増 中心街全体19%増

	11月	KIBOW 年次大会2015準優勝(まちぐみ)
2016年	3月	来館者数4,791,861人(3月31日)
	4月	第8回ふるさとあおもり景観賞地域づくり活動部門最優秀賞受賞(まちぐみ)
	6月	来館者数500万人達成(6月28日)
		地域創造大賞(総務大臣賞)受賞
2017年	10月	中心街の歩行者通行量(2010年比) はっち前60%増 中心街全体9%増
	3月	来館者数5,735,200人(3月31日)
		マチニワ着工
	7月	来館者数600万人達成(7月18日)
2018年	10月	中心街の歩行者通行量(2010年比) はっち前91%増 中心街全体33%増
	3月	来館者数6,670,219人(3月31日)
	7月	マチニワ竣工
	7月	マチニワオープン(7月21日)
	8月	来館者数700万人達成(8月10日)
2019年	10月	中心街の歩行者通行量(2010年比) はっち前59%増 中心街全体22%増
	11月	全映協グランプリ2018 CM キャンペーン部門優秀賞受賞 (88異国プロジェクト)
2019年	1月	第9回地域再生大賞 北海道・東北ブロック賞受賞(まちぐみ)
	3月	来館者数7,544,229人(3月31日)
2020年	10月	来館者数800万人達成(10月10日)
		中心街の歩行者通行量(2010年比) はっち前57%増 中心街全体12%増
2020年	3月	来館者数8,359,783人(3月31日)
	10月	中心街の歩行者通行量(2010年比) はっち前22%増 中心街全体7%減
2021年	3月	来館者数8,888,888人達成(3月19日)
		来館者数8,912,342人(3月31日)



2020.4—2021.3

八戸ポータルミュージアム はっち の歩み

発行日 令和3年(2021年) 7月

発 行 八戸市【八戸ポータルミュージアム】

〒031-0032 青森県八戸市三日町11-1

TEL 0178-22-8228

FAX 0178-22-8808

<https://hacchi.jp>
